

日本植生史学会ニュースレター

No.32 April 30, 2014

第29回日本植生史学会大会のご案内(第1報), 第37回日本植生史学会談話会のご案内, 学会ニュース

第29回日本植生史学会大会のご案内(第1報)

第29回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。

◆日時

- | | |
|-------------|--|
| 11月21日(金) | 午後:幹事会 |
| 11月22日(土) | 午前:幹事会, 評議委員会
午後:公開シンポジウム, 奨励賞関連行事, 懇親会 |
| 11月23日(日) | 一般研究発表(口頭・ポスター), 総会 |
| 11月24日(月・祝) | 巡検(第38回日本植生史学会談話会) |

◆会場: 鹿児島大学郡元キャンパス(稲盛会館を予定)

※アクセス: 鹿児島中央駅より市電「唐湊」または「工学部前」下車 徒歩5分

◆主催: 日本植生史学会

◆大会実行委員: 本田道輝(委員長), 中村直子, 大西智和, 真邊彩, 江口誠一, 星野安治

◆公開シンポジウム

テーマ: 『火山とともに生きる - 南九州の火山活動と植生史・人類史 - 』

オーガナイザー: 杉山真二, 本田道輝

趣旨: 本年は、桜島の大正大噴火からちょうど100周年を迎えている。世界でも有数の火山地帯である南九州では、先史以来いくたびもの火山噴火が起こり、火山災害と植生や人類活動の復活が繰り返されてきた。一方、温泉や鉱物資源などの火山の恩恵を受容するなど、火山と共生してきた地域でもある。近年の火山研究の進展や、発掘調査での火山噴出物に関連するデータの蓄積等によって、火山活動が植生に与える影響や人類の火山災害への対応についても詳細な議論が可能になってきている。本シンポジウムでは、南九州を中心とする過去3万年の火山活動と植生史・人類史の関係性について議論を深めたい。

◆巡検(第38回日本植生史学会談話会)のご案内

テーマ: 『桜島植生復元巡検』

案内人: 大木公彦(鹿児島大学名誉教授)

世話人: 中村直子, 大西智和, 真邊彩

内容: 鹿児島県本土の地盤は、火山堆積物であることが多い。エクスカージョンでは、錦江湾沿岸部の各地の植生分布を観察する。まず、鹿児島県本土の一般的な森林景観である鹿児島市城山の遊歩道で、サツマ火山灰上に繁茂する照葉樹林を見学する。次に、桜島へ渡り、明治・大正・昭和期の溶岩・火山噴出物上の植生を観察し、火山罹災からの植生の復元状況や植物種類をとらえる。最後に、錦江湾沿いに大隅半島を北に回り、鹿児島県上野原縄文の森を見学し、先史時代の火山堆積物の地層および、当時の生活を学ぶ。

日程: 11月24日(月・祝)

集合: 8:00頃・鹿児島市照国神社前(天文館近く)

解散: 17:00頃・鹿児島空港, 18:00頃・鹿児島中央駅

※大会・巡検の申込み方法等の詳細は9月上旬頃にご案内する予定です。一般研究発表の申込み締切りは10月上旬頃になる見込みです。

第 37 回日本植生史学会談話会のご案内

第 37 回日本植生史学会談話会を下記の要領で開催します。

◆ 講習会

植生史解明のための室内実験法 6—土器に含まれるプラント・オパールの意味とその利用—

内容：土器の胎土に含まれるプラント・オパールの抽出法の実演と試料汚染対策や分析結果の評価におけるリスクマネジメントについて紹介します。土器については、参加する考古学分野の方の持参されるものを活用させていただく予定です。

◆ 講師：宇田津徹朗（宮崎大学）

◆ 講師補助：江口誠一（日本大学）

◆ 日時

2014 年 6 月 14 日（土）13:00～17:00, 15 日（日）9:00～16:00

◆ 場所：中央大学後楽園キャンパス理工学部 2 号館 3 階 2338 実験室

◆ 主催：日本植生史学会

◆ 世話人：西田治文（中央大学）、星野安治（奈良文化財研究所）

◆ 定員：20 名（先着順）。原則 2 日間参加できる方を優先します。

◆ 参加費：実費 会員 500 円、非会員 1,000 円（当日会場にて徴収します）

◆ 申込方法：メールの件名を「第 37 回談話会参加希望」として、次の事項を記載の上、danwa37@hisbot.jp 宛へお申し込み下さい。申し込みの締め切りは、6 月 6 日（金）です。

①氏名

②所属

③連絡先（住所、電話番号、E-mail）

④会員/非会員

⑤懇親会の参加/不参加

⑥土器持参の有/無（手持ちにない方は世話人が用意いたします）

◆ スケジュール

1 日目（6 月 14 日（土））

13:00～14:00 土器に含まれるプラント・オパールの意味とその利用（講義）

14:00～17:00 土器を土に戻す（選定・切断・表面剥離・洗浄・低圧吸水）

17:30～ 懇親会（有志のみ、参加費別途）

2 日目（6 月 15 日（日））

9:00～12:00 土器胎土から分析試料へ（吸水土器の圧砕・超音波処理・粒径篩別・乾燥）

12:00～13:00 昼食（大学付近に多くありますので、各自でお願いします）

13:00～15:00 土器胎土中のプラント・オパールの探索と同定

15:00～16:00 質疑応答

学会ニュース

● 会費納入のお願い

2014年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費（2010年度より）一般会員：6,000円，学生会員：3,000円，団体会員：8,000円，賛助会員：一口20,000円とし一口以上とする。会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等があった方は、以下の日本植生史学会事務局へご連絡下さい。

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 吉田圭一郎 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷常盤台79-2横浜国立大学教育人間科学部
TEL：045-339-3425 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：hbjournal@hisbot.jp
- NL編集，ホームページ・企業広告問合せ 広報・渉外幹事 西本 寛 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み，バックナンバーの購入，メーリングリストアドレスの登録・変更，NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局
Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 Mail：hisbot@univcoop.or.jp
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>